

**「第9回 地域の交通環境対策推進者養成研修会
～ICTの活用を目指した持続的に支えあう交通づくり～」のご案内**
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

標記研修会について、9月12日(木)まで若干名のお申し込みを追加受け付け中です！

地域の交通と環境に関わる課題を解決するためには、その地域で交通環境対策を主導する人材が不可欠です。そこで、EST普及推進委員会および(公財)交通エコロジー・モビリティ財団は、地方運輸局や積極的に交通環境対策を実施している自治体と協力し、自治体の実務担当者などを対象として、現場見学、グループワーク、有識者との意見交換などを盛り込んだ体験型の人材養成研修会を開催しています。

第9回目の今回は、「第10回 EST 交通環境大賞」で環境大臣賞を受賞した会津若松市で実施します。

【日時】 2019年9月24日(火)10:30～26日(木)16:30

【会場】 福島県会津若松市 ICT オフィスビル「スマートシティ AiCT」 他

【主催】 EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

【共催】 会津若松市

【対象】 主に地方自治体や交通事業者等の公共交通や環境分野の実務担当者

【研修内容(当日分)】

- ・ ESTに関する有識者による講演や、開催地の EST や交通環境対策の現状についての講習会を受講
- ・ 会津若松市周辺(中山間地域生活支援システム及び地域内交通システム、風力発電所及び無償急速充電施設、ICT オフィスビル、住民コミュニティバス 等)における各種取り組みを見学
- ・ 見学した内容をもとに、コーディネータとともに以下の政策課題に対する検討会を行い、最終日に検討結果を全体討論会で発表し、参加者全員で成果を共有
 - (1) 会津地域の公共交通網の使いやすさ向上策を考える
 - (2) まちなかのモビリティサービスを考える
 - (3) AI・ICT を活用したバス・タクシーに対する住民の受容性

【講師・コーディネータ】

- ・ 谷口 守 筑波大学 システム情報系 教授
- ・ 加藤 博和 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
- ・ 谷口 綾子 筑波大学 システム情報系 准教授
- ・ 吉田 樹 福島大学 経済経営学類 准教授
- ・ 会津若松市 企画政策部 地域づくり課 等

【申込方法】 詳細及び参加申し込みは、以下のページをご覧ください。

<http://www.estfukyu.jp/training2019.html> (詳細はこちら)

※ご案内 PDF では募集終了となっていますが、9月12日(木)まで、若干名のお申し込みを追加で受け付け中です。

【問い合わせ先】

- ・ 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会 事務局
- 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 (担当: 中道)
- TEL: 03-3221-7636 FAX: 03-3221-6674 E-mail: seminar@estfukyu.jp

建設コンサルタント等の企業の方々もご受講の対象です。
MaaS、自動運転等の最新テーマも取り上げます。

前回(福井)の様子:



全体見学会



全体討論会